

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 輸血・カテーテル用アクセサリセット 70326002

JMS コネクター

再使用禁止

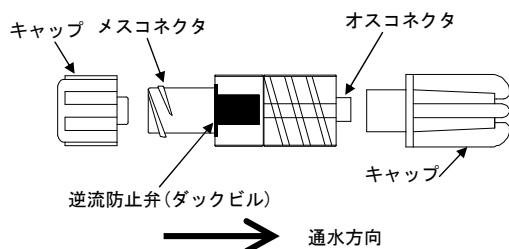
【禁忌・禁止】 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

〈構成〉

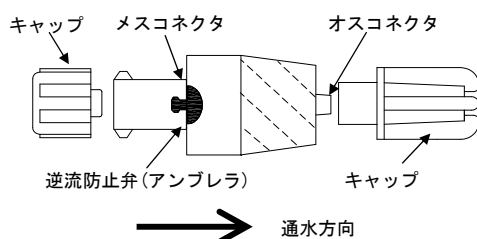
1. 回転式一方弁

メスコネクタ、逆流防止弁(ダックビル)、オスコネクタからなる。オスコネクタとメスコネクタの接続部において、本品のオス側及びメス側がそれぞれ回転し、輸液ラインのねじれを防止する。



2. 逆流防止弁 A

逆流防止弁を有したコネクタである。



・本品は以下の原材料を使用している。

構成部品	原材料
オスコネクタ	ポリカーボネート
メスコネクタ	ポリカーボネート、ポリプロピレン
弁	シリコンゴム

【使用目的又は効果】

医療機器と医療機器の接続及び医療機器の末端部の閉塞に用いる。

**【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. 前後のキャップを外し、輸液ラインに接続します。
3. 本品のオスコネクタ側を上に向けて、ライン先端まで薬液を満たします。このとき、本品を指先でたたくと、内部の空気を簡単に除去することができます。
4. ライン全体に空気がないことを確認し、任意の速度で輸液を開始します。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 共通

(1) 他の医療機器と接続する際は、次の事項に注意すること。

- 1) 過度な締めつけをしないこと。[コネクタが破損するおそれがある。]

**2) コネクタのテーパ部に薬液等が可能な限り付着しないように注意すること。[接続部に緩みが生じるおそれがある。]

- (2) 空気除去の際は、鉗子等の硬いものでたたかないこと。[破損

の原因となる。]

** (3) 本品は、メスコネクタ側を上向きにし、穿刺部より高い位置にすること。[逆流が生じるおそれがある。]

2. 回転式一方弁について

(1) オスコネクタを接続する際はオスコネクタを、メスコネクタを接続する際はメスコネクタを保持すること。[部品の回転により十分なロックかん合ができないおそれがある。]

(2) 本品の通水圧は 5kPa であるため、薬液面からの落差を 50cm 以上設けて使用すること。

(3) 本品を 1 ラインに複数個接続しないこと。[通水圧が上昇するおそれがある。]

3. 逆流防止弁 A について

(1) 本品の通水圧は 10~50kPa であるため、シリンジポンプ等を用いて通水圧を確保すること。

(2) 血圧モニタラインに組み込んで使用する場合は、次の事項に注意すること。

1) 観血式血圧測定でフラッシュ装置を内蔵しないトランスデューサと微量注入器具(シリンジポンプ等)の間に組み込む場合、本品はトランスデューサに直接接続すること。[直接接続しなかった場合、正確に圧を測定できないおそれがある。]

2) 正確な血圧モニタを行うため、本品及びライン内の空気抜きを厳重に行うこと。

3) 加圧バグルートには使用しないこと。[過量投与が生じるおそれがある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中は接続部の緩み、液漏れ又は破損等に注意し、定期的に確認すること。
2. ポリカーボネートを使用している構成部品については、脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤等を含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合、コネクタのひび割れについて注意すること。[薬液によりコネクタにひび割れが生じ、血液及び薬液漏れ、空気混入等が生じるおそれがある。特に、全身麻酔剤、昇圧剤、抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤等の投与では、必要な投与量が確保されず患者への重篤な影響が生じるおそれがある。なお、ライン交換時の締め直し、過度な締めつけ及び増し締め等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。]
3. ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

逆流、空気混入、漏れ、緩み、亀裂、過量投与、破損

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3 年 [自己認証(当社データ)による]

包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

電話番号：082-243-5806